

| | | | |
|----------------------------|--|----------|--------------|
| プログラム名 (40字以内) | 真冬の雪中に桜が咲く郷＜山形県西川町＞啓翁桜とかくれ積雪日本一の地域体験 | | |
| 団体名/所属 | 西川町農業担い手育成協議会・西川町役場みどり共創課 | | |
| 活動区分 | 農林水産業などに関わる地域体験活動 | 希望する選考方法 | 書類審査のみ |
| 募集人数 | 2～4人 | 選考対象 | 大学院学生を含む |
| 活動方法 | オンラインを活用しつつ現地活動を行う | | |
| 参加者に求めるもの | やる気、積極性 | | |
| 活動期間 | 2026/2月中旬以降(Aセメスター試験期間終了後) 3日間 | 主な活動予定場所 | 西川町2日間、都内1日間 |
| プログラム実施の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・西川町での体験を通じた、生産者や地域住民との交流により、学生の視野を広め、社会観の涵養を図る。 ・日本の農業・農村及び地方の実情に触れ、在り方について考え、農業、地方再生の可能性を発掘する。 ・地方創生の最先端の取組を学び、日本社会全体への展開を考察する。 ・春に咲くサクラを冬に咲かせる農家の古くからの知恵(＝バイオテクノロジー)を知る。 | | |
| 具体的な内容(800字程度) | <p>日本有数の豪雪地帯の山形県西川町は、冬場は農作業などができないため都会へ出稼ぎに出る町民が多く、地域振興と冬場の収入を得る手段の1つとして「啓翁桜」の生産を始めた経緯があります。冬場に花を咲かせるために農家はいろいろな知恵や工夫をして、現在では正月生け花用のサクラの切枝「啓翁桜」の出荷量全国一の町になりました。また、西川町は高齢化率が山形県内でも最も高く、最近では46%を超えています。現在は冬場の所得確保だけでなく町の消滅回避を懸け、AI観光の導入やサウナを活用した町おこしなどの様々な施策に取り組んできています。「冬の豪雪地帯での体験活動」をとおして地方自治体の現状の見聞を深めてください。</p> <p>真冬にサクラを咲かせるために令和のはなさかじいさんの手伝いをしてみませんか。農業の体験に加えて、サウナ体験や、農家や町民との交流・ディスカッションも企画いたします。現地での活動後、都内で実際に「啓翁桜」を販売している小売店を見学し、各自の視点からレポートをまとめてください。</p> <p>オンライン事前活動 町の成り立ち、現在の取り組みに関するセミナー 啓翁桜の栽培、開花に関する説明</p> <p>西川町での体験活動(気象条件に依存する部分が含まれています) 1日目 ＜午前＞ 移動 ＜午後＞ 冬のサクラの出荷作業の見学・体験 雪旅籠の見学(週末の場合のみ実施。暖冬の場合なし) 交流会(町内イノベーションハブ・コワーキング施設)</p> <p>2日目 気象条件等を考慮し、この中から参加者が選択する。 [従来の地域での体験] 豪雪(かまくら?)体験 除雪体験(除雪重機の見学) そば打ち体験 [最近の町の取りくみの見学・体験] サウナ施設 ビール(ミネラルウォーター)工場</p> <p>別日程 都内での啓翁桜販売の様子を小売店で見学(場合によっては太田市場見学) 終了後、本郷キャンパス内でまとめのゼミを行う。後日、簡単な感想レポートを提出。</p> | | |
| 【総額】参加するための費用 | 37,500円 | | |
| 【内訳】参加するための費用(宿泊費) | 7,000円 | | |
| 【内訳】参加するための費用(交通費) | 25,000円(山形新幹線利用・学割の場合) 内訳:上野—寒河江 新幹線＝20,200円、寒河江—町営バス—役場前＝600円、町内の移動費用2,000円、都内での小売店での見学会2,000円程度 | | |
| 【内訳】参加するための費用(その他) | 5,500円 内訳:体験活動費2,500円、交流会3,000円、 | | |
| 奨励金額(予定) | 25,000円 | | |
| 備考 | 防寒対策を各自してください。(相談に乗ります) 事前に参加者にオンライン説明会をします。 | | |
| 活動に関する関係資料のダウンロードサイト | https://youtu.be/y4WdqsU1hg | | |
| 応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) | https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/ | | |
| この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無 | 参加する | | |